

がまごおり

# スポーツ推進だより

発行

蒲郡市緑町3-69

蒲郡市民体育センター

(69-3241)

蒲郡市スポーツ推進委員会

広報部会 No. 24

平成24年7月11日発行



## 新年度に向けて

蒲郡市スポーツ推進委員会委員長 大竹洋一

体育指導委員からスポーツ推進委員と名称も変わり戸惑う中で、委員長という大役を拝命して3カ月余り。早くも責任の重さを痛感しております。

今年は東三河スポーツ推進委員の研修大会が蒲郡を会場として行われます。そのため近隣市町村とも、スポーツを通してより連携、協働して参りたいと思います。また地域公民館活動の協力はもとより、ユニホッケー大会、ダーツ大会等の市民大会や出前講座にも積極的に取り組んで参りたいと考えています。

少子高齢化の進む中で「いつでも」「どこでも」「だれでも」をモットーに、蒲郡市スポーツ推進委員30名の意思疎通と和をもって、地域の方々へ向けたニュースポーツの普及および実技指導に努め、コーディネーターとして健康づくりにも取り組んで参りたいと思います。

今後とも、スポーツ推進委員をよろしくお願い致します。



# ダーツ大会

府相地区 荒島康行

第6回ダーツ大会が5月27日（日）に竹島小学校体育館で行われました。

参加人数は、45名（男性32名、女性13名）で競技が行われました。競技は2ゲーム合計得点で男子の部優勝は高崎紘一さん（豊岡町）968点、準優勝は榊原進さん（三谷北通）933点、女子の部優勝は広中美智子さん（三谷町）910点、準優勝は沓名和子さん（三谷町）883点の方々です。

参加者最年少は10歳の方も楽しんでいました。また大塚、形原、西浦の地域で行われると地域の交流活動が出来ることを楽しみにしています。



# 北部地区体育祭

北部地区 藤原勝文

北部地区では年間に幾つかの行事があります、中でも最大の行事は体育祭です。北部地区の体育祭は市内で唯一、小学校の運動会と合同で行う形式をとっており最も人が集まる行事ですので、事前準備も1ヶ月以上前から大勢の方達の協力の元に行われています。

今年も5月20日（日）曇り空ではありましたが、午前8時40分 稲葉蒲郡市長のご臨席を得て開催されました。保育園児、小学生、地域のみなさんが一緒になって21種目の演技・競技が予定通り行われました。北部小学校の児童達は練習した成果をいかに発揮真剣な演技を披露してくれました。観客もわれんばかりの拍手の連続でした。地域種目に関しては、常会対抗の得点種目としてタガ回しリレー、年齢別リレー、綱引き等があります。タガ回しリレーでは思うようにタガを回せずなかなかゴール出来ず観客から笑いをとってました。年齢別リレーでは20代男子の力強い走りに小学生の児童たちも圧倒され大きな歓声をあげていました。綱引きの決勝戦は両チーム一步も引かずなかなか勝負が決まらない白熱した戦いが繰り広げられ観客からも大きな声援を受けていました。

閉会式では総代会長さんより、すばらしい演技、競技をありがとう！感動の連続でした。との講評を頂き無事に終えることが出来、地域のふれあいを深めることができました。これからも北部地区の伝統行事として続けていけたらと思います。



# 平成24年度 新スポーツ推進委員紹介

大塚地区 杉浦 充洋

本年度から大塚地区のスポーツ推進委員になりました杉浦です。大塚地区では、体育委員も4年目を迎えます。地区では、毎年、ソフトボール(男子)、キックベースボール(女子)、運動会、バレーボール、キンボールなどの大会があり、地区の皆様に参加していただき盛大に行われています。地域の交流の場であり親睦を深めあう良い機会の行事なので、一生懸命体育委員として準備、進行させてもらっています。推進委員としては1年目なので皆様にご指導を頂ながら活動をさせていただきますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

三谷地区 倉橋 君子

25年間という長い期間体育指導委員を務められた岡田和子さんに代わりました三谷地区の倉橋君子です。

まだ3ヶ月足らずしかたっていませんが、これからみなさんとコミュニケーションをとりながら楽しくサポートできればと思っています。また、私にとって初めてのスポーツが体験でき、楽しんでやっています。

これからもみなさんのあたたかいご指導を承りながらやっていきたいです。

北部地区 羽賀 久芳

今年度より北部地区のスポーツ推進委員になりました羽賀です。委員になって特に強く感じたことは、地域にはいろいろな活動があり、その活動をとおして地域の方々の交流が広がっているということです。5月に行われた北部小学校の体育祭は、地区の体育祭も合同で行うため、準備から学校と地域の方々とが一緒に進めて行き、当日は、みんな楽しそうに競技に参加したり、応援したりして最高のふれあいの場になったと感じています。

行事は盛りだくさんではありますが、皆さんの協力を得ながら、楽しく進めて行きたいと思っています。

西部地区 大森 昭典

健康のため?減量のため?家に居場所がないため?理由はともかく毎日1時間のウォーキングを日課にしています。6月3日のノルディックウォーキングの練習会にてポールが借りれました。消費カロリー20%アップ!ひざへの負担軽減!を聞いた瞬間から興味津々、しかし、毎日使っていたら接地面が擦り減り、金属が出てきて使用出来なくなってしまう。交換してくれるのか?7月14日にそおーと返そうか悩みながら、今日もミカンの温室団地を歩いています。

今年から、高田前委員長に代わりまして、スポーツ推進委員を務めることになりました。地区の体育委員を数年やり、そろそろ代わろうと思っていたところにこの話がきました。私でもいいのか、私にできるのか、また何をするのかよくわからずに不安でした。今は、やる以上はせっかくの機会なので、新しいスポーツ、体験したことのないスポーツに挑戦しようと思っています。そして早くスポーツ推進委員の先輩方の楽しそうな輪の中に入れていけたらなと思います。よろしくお願いします。

## エラー! 東部地区インディアカ大会

東部地区 横田 倉伸

東部地区ではスポーツ大会としてインディアカを7年前から行っています。

「インディアカって何?」と誰でも思うでしょう。インディアカはインディアンがやっていたスポーツではありませんが、インディアンの象徴である羽根を加工したボール(写真)を使ったニュースポーツです。コートはバドミントンと同じ大きさのコートで1チーム4人で羽根をバレーボールのようにネットを挟んでお互いに打合います。片方の手の平で羽根を自由に操作することができ始めての方でも簡単にでき面白です。ルールはいろいろ試行錯誤し東部独自のルールを考え、アタック、ブロックを無くしました。これによりチームの格差が減りラリーが続きレクリエーション的なインディアカとなり楽しくできます。

試合は常会対抗戦で女子、男子、混合の3部門あります。今年は各部門共10チームの計30チームが参加し年々増えています。

参加者は公民館行事ということもあり20代から50代の年齢層で親子での参加もあり楽しい親睦の場となっています。

また6月に4回の練習会を開き大会に備えて体力つくりと技術のレベルアップをはかっています。

今後、参加者の低年齢化も考え会場の広さの問題はありますが、子供も含め誰でもインディアカができる場にしていきたいと思っています。

